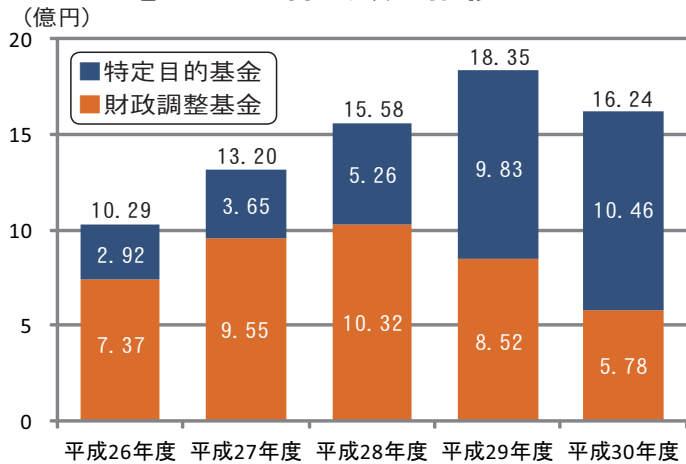


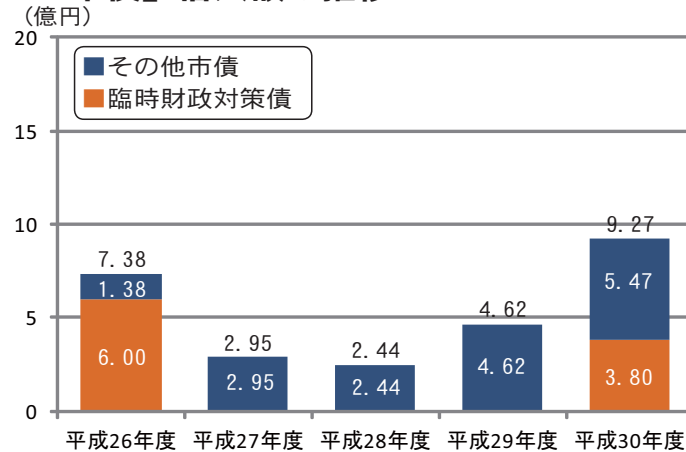
「基金」からの繰入額と「市債」借入額の推移

「基金」からの繰入額の推移 ※当初予算額



「基金」は、将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。「財政調整基金」は経済状況の変化などによって財源が不足する場合には活用される財源調整のための基金です。平成30年度は基金を総額で16億2366万円繰り入れ、このうち財政調整基金の繰入金は5億7816万円としました。市税収入をはじめとする経常的に収入される一般財源が減少しているに伴い、基金からの繰入額が増えており、基金残高が減少している状況です。このた

「市債」借入額の推移 ※当初予算額



め「第六次行財政改革基本計画」に基づき、行財政改革をより一層推進し、基金残高の確保など財政基盤の強化に取り組んでいきます。「市債」は、家庭でいう「借金(ローン)」にあたります。公共施設の建設などに要する財源を補う借入金で、将来その施設などを利用する後世代の方にも建設経費を負担していただき、住民負担の世代間の公平を図るという目的も含まれています。平成30年度は9億2660万円の借入れを行うこととしました。



太郎家の家計簿

市の平成30年度一般会計予算225億6,000万円を、毎月の家計費20万円に置き換えてみると…



太郎さんの家では、給料が9万1,600円のため、月の家計費20万円には10万8,400円不足してしまいます。そのため、親からの援助や貯金の取崩し、銀行からの借入れを行うなどして家計費を賄っています。

借金や貯金の取崩しをなるべく少なくするため、余計なものを買わないなどの努力をしていますが、家族の医療費などが増加してしまい、厳しい家計状況はここ数年変わっていません。

将来への貯蓄も必要なので、収入を増やすとともに、無駄遣いをなくすよう、家族全員で協力しなければなりません。

収入		支出	
給料(市税)	91,600円	医療費(扶助費)	61,200円
親からの援助(国・都支出金、地方譲与税など)	63,400円	子どもへの仕送り(補助費等・繰出金)	53,800円
ものを売ったお金、貯金の利子や配当(諸収入など)	16,000円	食費(人件費)	31,000円
貯金の取崩し(基金繰入金)	14,400円	光熱水費・電話代(物件費)	29,600円
銀行からの借入れ(市債)	8,200円	家や庭の修理・整備、家電製品などの購入(普通建設事業費)	13,200円
家賃収入(使用料・手数料、分担金など)	5,600円	ローンの返済(公債費)	8,800円
前月から繰り越したお金(繰越金)	800円	その他(積立金など)	2,400円
合計	200,000円	合計	200,000円

※ () 内は市の予算に置き換えた費目を表します。

平成 30 年度の 主な事業

平成 30 年度予算書は、市役所 1 階市政情報コーナー、図書館のほか、市公式サイトでもご覧いただけます。

基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

子育て支援と保育・幼児教育の充実

- 民間保育園等における保育の質の向上支援 1,464 万円
保育人材の確保、保育士の業務負担の軽減などを図ることにより、保育環境の充実、保育・幼児教育の質の更なる向上を図ります。

- 妊娠・出産・子育て包括支援拠点（子育て世代包括支援センター）の運営 990 万円
- 発達支援体制の充実 3,608 万円
- 子ども・子育て支援事業計画の改訂 302 万円
- 民間保育園施設整備の支援 2億2,603 万円



▲羽村まつの木保育園の新園舎

学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成

- 羽村西小学校特別支援学級整備工事の実施 751 万円
- 羽村第一中学校防音機能復旧（機器取替）工事の実施 2億3,421 万円
- 学力向上のための取組みの推進（学習サポーターなどの配置） 998 万円
- 多様なニーズに応じた教育相談の充実（家庭と子どもの支援員の増員など） 2,676 万円
- 教育用コンピューターの更新（小学校・中学校） 3,561 万円

生涯学習の推進

- 旧下田家住宅およびその生活用具の修復 2,335 万円
- 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト 459 万円
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進 200 万円
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施 989 万円
- 読書活動の推進 1,352 万円

基本目標 2 安心して暮らせる支えあいのまち【福祉・健康の分野】

助けあい支えあう福祉社会の実現

- 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施（特別会計） 7,860 万円
- 地域包括支援センター事業の充実（特別会計） 4,850 万円
- 医療費の適正化（特別会計） 1,652 万円
- 生活困窮者自立相談支援事業の充実 912 万円

- 福祉作業所「スマイル工房」の施設整備の支援 1,000 万円
精神に障害のある方の日中活動の場である福祉作業所「スマイル工房」の施設整備を支援し、障害福祉の推進を図ります。

安心を支える健康づくりと保健・医療の充実

- 骨髄移植ドナー支援事業の実施 21 万円
- 妊婦健康診査および乳児家庭全戸訪問の充実 3,560 万円
- 予防接種の実施 1億2,286 万円
- がん検診の実施 4,417 万円
- ヘルスアップ健診の実施 3,226 万円



▲建設中のスマイル工房